

佐渡市立博物館・資料館等の整備計画(案)(たたき台)

博物館

NO	現行の施設名	保有する国・県指定文化財	H30	H31	H32	H33	H34	H35	今後の課題・方針等
1	佐渡博物館	翁・三番叟桧扁額、三十六歌仙絵扁額(寄託) 三十六歌仙絵扁額(寄託)	整備計画(案)の策定	有識者による意見交換会により整備計画最終案の作成 議会説明 市民説明					市民への社会教育の場、児童生徒の教育の場となる博物館機能の集中及び強化により、佐渡の中核・総合博物館としての充実を図る。
2	両津郷土博物館	北佐渡(海府・両津湾・加茂湖)の漁撈用具 北條家医学資料 味方家鉱山関係資料 佐渡国絵図	整備計画(案)の策定		佐渡博物館分館	→			平成30年度に協議を行い、平成31年度以降に佐渡博物館の分館として「佐渡博物館 両津郷土博物館分館」に変更する。国重要文化財である、北佐渡の漁撈用具の展示・保管場所必要な施設のため、有効活用と情報発信の体制強化を図るうえでも、ジオパークの拠点、佐渡学の拠点、大学、市民の学ぶ拠点としての機能等の強化を図る。施設改修(耐震、外壁、冷暖房等)等による機能強化が必要となる。
3	小木民俗博物館・白山丸	南佐渡の漁撈用具 船大工用具及び磯舟(建物 市指定文化財)	整備計画(案)の策定		佐渡博物館分館	→			平成30年度に協議を行い、平成31年度以降に佐渡博物館の分館として、「佐渡博物館 小木郷土博物館分館」に変更する。佐渡の民俗資料等が一体的に説明できる機能を有する施設への強化を図る。なお、既存の資料を整理する体制、保存場所(収蔵庫等)の対応が必要となる。
4	相川郷土博物館	佐渡奉行所跡出土品 佐渡海府の紡織用具 川上家文書	整備計画(案)の策定		廃止(博物館機能)				ゴールデン佐渡資料館、世界遺産ガイダンス施設、佐渡奉行所など多くの方が集まる場所で、博物館機能の代替の可能性がある。かつ、観光客、市民に佐渡金山の歴史、相川の歴史がわかりやすく伝えることができる拠点機能が求められている。わかりやすい佐渡金山の歴史等の発信に向けた対応を検討する。あわせて、収蔵施設の在り方を検討し、文化財等の保全体制を構築する必要がある。
5	佐渡植物園		整備計画(案)の策定		廃止(植物園機能)				現状、博物館機能を維持できていないのが現状である。今後の在り方について、抜本的な検討の必要がある。(市民の公園としての手法についての検討)

資料館ほか

6	新穂歴史民俗資料館	佐渡新穂玉作遺跡出土品(寄託)		/					現状、地元団体「新穂の歴史と民俗を考える会」による管理運営委託を継続する。
7	赤泊郷土資料館								現状、赤泊AC内に有り来館者の対応は、教育事務所職員が行っている。
8	幸丸展示館								展示内容の整理を含め対応が必要となっている。
9	史跡佐渡奉行所跡	佐渡金銀山遺跡 佐渡奉行所跡							臨時職員を配置し来館者、体験実習者の対応を行っている。
10	相川技能伝承展示館(体験学習館)	陶芸、裂き織り体験							地元 猿八自治会に管理委託
11	畑野鳥越文庫	寄贈図書							見学の希望の場合、佐渡博物館職員が対応
12	明治記念堂								来館者の対応は同施設内にある図書室職員が行っている。
13	日本アマチュア秀作美術館								